

# 第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事概要

日時：令和5年8月2日（水）

午後2時00分から

場所：山武市役所新館3階 第5会議室

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員・職員の紹介
5. 議 事
  - (1) 副座長の選出について
  - (2) 第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
6. そ の 他
  - (1) 企業版ふるさと納税について
  - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
7. 閉 会

## ○会議資料

- 第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 次第
- 【資料1-1】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況【概要版】
- 【資料1-2】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況
- 【資料 2】企業版ふるさと納税について
- 【資料 3】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 【参考 1】山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱
- 【参考 2】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略
  
- 【当日配布資料1】第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 座席表
- 【当日配布資料2】山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員名簿

### 【問合せ先】

総合政策部企画政策課

政策推進係 担当：青木、村瀬

電話：0475（80）1132

○会議経緯（14:00～15:20）

対応	内容
内山課長	<p><b>【1. 開 会】</b></p> <p>それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和5年度第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を開催させていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます、総合政策部企画政策課の内山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は約1時間半程度を予定しております。</p> <p>それでは、お手元にございます次第に従いまして進めさせていただきます。</p>
内山課長	<p><b>【2. 委嘱状交付】</b></p> <p>次第の2、「委嘱状交付」です。</p> <p>今回の会議は、令和5年度に入りまして初めての会議でございます。</p> <p>本会議の委員は、関係行政機関等からご推薦またはご承諾によりお願い致しました。</p> <p>皆様には、机の上にて委嘱状を配布させていただいております。ご確認をお願いいたします。</p> <p>なお、委員の任期は本日から令和7年の7月末までとなっております。</p>
内山課長	<p>それでは、次第の3「市長あいさつ」です。松下市長よろしくお願いいたします。</p>
松下市長	<p><b>【3. 市長あいさつ】</b></p> <p>皆様、こんにちは。市長の松下でございます。本日は暑い中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>日頃から皆様方にはいろいろとお世話になり、まちづくりへのご協力をいただいておりますこと、感謝を申し上げます。</p> <p>この会議の趣旨は、平成27年度から本格的に始まりました、地方創生を効果的・効率的に推進していくために、「産官学金労言」の幅広い分野の見識を持たれている委員の皆様方と、審議・検討を行いまして、その結果を反映していくことで、より一層の効果を出していく、というところがございます。</p>

対応	内容
	<p>地方創生の事業につきましては、一つひとつ、真摯に取り組んでおりますが、中には時間のかかる取組もあり、加えて、日本全体での人口減少にも歯止めがかかっていないということで、苦戦しているところが実情ではございます。</p> <p>山武市におきましては、人口減少が急速に進んでいるという現状がありまして、これがやはり喫緊の課題だと思っております。</p> <p>また、昨年度に松尾地域が過疎地域に指定をされてしまいました。市では、松尾地域の活性化を目的として、過疎地域持続的発展計画を策定いたしました。松尾地域の土地利活用を検討し、駅周辺の整備や企業誘致にも取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>松尾地域が過疎地域に指定され、これに続き、おそらく市内他地域でも指定をされてしまうのではないかと懸念もあります。</p> <p>そのため、今後歯止めをかけるという意味でも、松尾地域に対しての政策というのは非常に重要になってくると考えておりますので、一生懸命取り組んでまいります。</p> <p>今年度は令和元年度に策定いたしました第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4年目となっております。</p> <p>第2期総合戦略も終盤になりまして、地方創生の意識や取組が着実に根付いてきたと感じておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、進捗の芳しくない取組があるのも事実でございます。</p> <p>今年の5月に新型コロナウイルスが感染症法上では5類に移行したことで、コロナ前の生活様式に日々戻りつつあり、大変嬉しく思っております。とはいえ、完全にコロナ禍が収束したわけではありませんので、今後も注意していかなければいけないなとも思っております。</p> <p>一方、コロナ禍を契機に、新しい生活様式も浸透してきたことで、距離の壁を越えて地方でも都市部と遜色なく働ける環境ができつつあり、移住を検討する方が出てくるなど、地方への注目が高まっているということも感じております。</p> <p>国では、第2期総合戦略を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定されまして、第2期山武市総合戦略の改訂も課題となっております。</p> <p>また、本年度より、「第3次山武市総合計画」が始動し、デジタル技術の活用やゼロカーボンシティ、そしてSDGsの推進など、時代の潮流を取り入れた持続可能なまちづくりを進めております。</p>

対応	内容
	<p>こうした取組を実施していく中で、ぜひとも委員の皆様方のお知恵をお借りいたしまして、地方創生の取組を深めていきたいと考えておりますので、どうぞ、よろしく願い申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。皆様、本当にどうもありがとうございます。</p>
内山課長	<p>ありがとうございました。 市長の松下ですが、公務のためここで退席とさせていただきます。</p>
内山課長	<p><b>【4. 委員・職員の紹介】</b></p> <p>それでは、次第の4「委員・職員の紹介」でございます。 委員の皆様、恐縮ではございますが、自席にてご起立いただき、所属とお名前を述べていただいて、自己紹介をお願いしたいと思います。上大川座長から井野委員という順番でよろしくお願いいたします。</p> <p>&lt;各委員の自己紹介&gt;</p> <p>委員の皆様ありがとうございました。続きまして、職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>&lt;各職員の自己紹介&gt;</p>
内山課長	<p><b>【5. 議 事】</b></p> <p>それでは次第に戻りまして、議事に入るところでございますが、その前に本日の出席状況を報告させていただきます。 本日は委員総数15名に対し、12名の方に出席をいただいております。 なお、増田委員、伊藤委員、内山委員につきましては、所用のため欠席とのご連絡をいただいております。 お手元に配布しております、山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱をご覧ください。 要綱第5条第2項に基づきまして、出席委員が過半数を超えておりますので、会議は成立することを報告いたします。</p> <p>また、要綱第4条第2項及び第5条第1項の規定によりまして、この後の議事につきましては、上大川座長にお願いいたします。 それでは、上大川座長、今後の議事進行をよろしくお願いいたします。</p>

対応	内容
上大川座長	<p><b>【5. 議 事】</b></p> <p>改めまして、座長を務めさせていただきます、副市長の上大川です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
上大川座長	<p><b>【5. 議事：(1) 副座長の選出について】</b></p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議事の「(1) 副座長の選出について」でございます。</p> <p>要綱の第4条第4項で「副座長は、委員のうちから座長が指名する。」とあります。</p> <p>この要綱の規定に基づきまして、私から指名をさせていただきたいと思えます。</p> <p>昨年からも継続されている方の中から、ご協力賜りたいと考えております。</p> <p>つきましては、山本委員にお願いしたいと思えます。山本委員、まち・ひと・しごと創生戦略会議の副座長にご就任願いますでしょうか</p> <p>&lt;山本委員の承諾&gt;</p> <p>ありがとうございます。それでは恐縮ですが、副座長席にお移りいただき、就任のごあいさつをお願いしたいと思えます。</p>
山本副座長	<p><b>《副座長・就任あいさつ》</b></p> <p>ただいま、座長よりご指名いただきました、山本でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
上大川座長	<p><b>【5. 議事：(2) 第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について】</b></p> <p>続きまして第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についてですが、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
事務局説明 (村瀬主事)	<p><b>■説明■</b></p> <p>はい。それでは、第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況として令和4年度の実績について、ご説明いたします。</p> <p>先んじて、第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略について簡単に説明させていただきます。</p> <p>第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略をご覧ください。</p>

対応	内容
	<p>国が策定しております、まち・ひと・しごと創生総合戦略とは、日本全体で人口減少が予測される中、東京への人口集中を改善し、地方を活性化させ、少子化に歯止めをかけることを目的に、それぞれの地域で、独自の強みを生かして地域を活性化させるための、「政策目標」、「施策の基本的な方針」、「具体的な施策」をまとめたものとなります。</p> <p>山武市においても平成 27 年に、令和元年度までを計画期間とする「山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。</p> <p>そして、令和元年度に、前戦略の効果検証を行い、令和 6 年度までを計画期間とする「第 2 期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。</p> <p>第 2 期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、45 年後の 2065 年には山武市の人口は 15,150 人まで減少すると推計されております。そこで、人口減少対策を推進し、将来にわたり住み続けられるまちを築くことを目的にしており、人口減少問題に対応するため、「育てる力」に集中して構築されております。</p> <p>3 ページにありますとおり、政策分野ごとに「基本目標」を設定し、政策の効果を客観的に検証するために、「数値目標」を設定しております。</p> <p>さらに、基本目標ごとに「具体的な施策」を入れ込み、具体的な施策の中に KPI と呼ばれる重要業績評価指標が設定されております。</p> <p>この戦略会議は、委員の皆様にも、数値目標と KPI をもとに、施策・事業の効果検証を行っていただき、効果的な総合戦略の推進を図るために実施いたします。</p> <p>今回の会議では、第 2 期総合戦略の中間年である 3 年目となる令和 4 年度の実績報告を行います。</p> <p>それでは【資料 1-1】をご覧ください。</p> <p>第 2 期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、左側の「人口ビジョン」と、右側の「&lt;育てる力&gt;集中創生戦略」の 2 つから構成されています。</p> <p>「人口ビジョン」は市の人口の状況を分析し、今後目指すべき将来の方向性と、人口減少対策の取組を行った上での人口の将来展望を示したものとなります。</p> <p>「&lt;育てる力&gt;集中創生戦略」は、人口ビジョンで示した将来展望を達成するために、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間で取り組む、基本目標と具体的な施策、KPI で構成されています。</p> <p>基本目標として、1. 「地域の魅力と誇りの創生」、2. 「グローバル人材を</p>

対応	内容
	<p>育てる力の創生」、3.「出産・子育て、高齢者にやさしいまちを育てる力の創生」、4.「地域経済を育てる力の創生」の4つを掲げています。</p> <p>それぞれの指標のうち、赤字で記載してある数値が、令和4年度では目標未達成の指標となり、青字で記載してある数値が既に目標値を達成している指標です。</p> <p>数値目標は全部で21ありますが、令和4年度に目標値を達成したのは基本目標1の「転入転出者数」、基本目標1のKPI「ふるさと納税の寄附件数」、基本目標2のKPI「英語講座への参加者数」、基本目標3の「地域医療体制の充足度」、基本目標4の「市内事業所従業者数」、基本目標4のKPI「エコノミックガーデニング参加事業所数」の6指標となります。</p> <p>令和3年度から新たに3指標増加いたしました。</p> <p>続いて、各指標の状況についてご説明いたします。【資料1-2】をご覧ください。</p> <p>こちらは、指標の実績値を年度別にあらわしたものになります。</p> <p>この中で主なものについて、数値とともにその分析結果について説明いたします。</p> <p>基本目標1の数値目標「転入転出者数」ですが、218人の転入超過で、前年度比では485人の改善となりました。</p> <p>内訳として、外国人の社会増減は369人の転入超過となっていますが、日本人の社会増減は県内外ともに転出超過であり、合計151人の転出超過となっています。日本人の転出超過の改善を目的として、引き続き、移住定住の促進にかかる施策を進めていくとともに、情報発信に力を入れていくことが重要と考えます。</p> <p>施策1-1「ふるさと納税の寄附件数」は、昨年度に引き続き、目標値を達成しました。返礼品のメニュー増加や窓口となるポータルサイトの追加が、成果につながったものと思われます。</p> <p>続いて2ページをご覧ください。</p> <p>基本目標2の数値目標「中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合」については、1人1台端末を活用し、英語検定対策講座を個別で取り組めるよう工夫がりましたが、コロナ禍の影響により受験回数が減少したため、昨年度から6.3ポイント減少し、目標値には届きませんでした。</p> <p>なお、施策2-2「海外派遣事業応募者数」は、新型コロナウイルスによる渡航制限等により中止となったため、数値は未取得となります。</p>

対応	内容
	<p>続いて3ページをご覧ください。</p> <p>基本目標3の数値目標「出生者数+15歳以下の社会増減数」については、目標値が1,400人であり、1年あたり280人の増加を目標としています。令和4年度は、出生数172人、社会移動では88人の転入増加となり、合計で260人と、目標値である280人を下回る結果となりました。</p> <p>出生数は、令和3年度から微減しており、社会増減数については、コロナ前の水準を上回り、日本人・外国人ともに転入超過となっております。三世帯同居等支援補助金など子育て世帯への移住支援の効果が出てきていると考えられます。</p> <p>続いて4ページをご覧ください。</p> <p>基本目標4の「市内事業所従業者数」は、経済産業省の「経済センサス」を参照しております。この調査は隔年実施であり、令和4年度は実施しなかったため取得不可でした。</p> <p>施策4-1の「エコミックガーデニング参加事業所数」については、昨年度より6事業所増加し、目標値を達成しました。エコミックガーデニング事業が商工会等で普及し、ある程度の認知度が得られたことが、会員数が増加した要因だと考えられます。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告は以上となります。</p>
<p>上大川座長</p> <p>大高委員</p> <p>村瀬主事</p> <p>森委員</p> <p>青木主任主事</p>	<p>■質疑応答■</p> <p>では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p> <p>戦略における令和6年度の目標値を変更することはあり得るのでしょうか。</p> <p>計画期間を通しての実績を見るため、変更は考えておりません。</p> <p>転入転出者数において、令和4年度の外国籍の方がプラス369人とのことでしたが、国籍別の割合はどうでしょうか。</p> <p>転入者数と国籍は直接調査していないため、令和5年3月末時点と令和4年3月末時点の外国籍の住民の数を比較して回答いたします。</p> <p>スリランカ国籍の方が圧倒的となっており、191人増加しております。また、令和5年3月末時点で732人のスリランカ国籍の方が山武市に在住しております。</p>



対応	内容
青木主任主事	<p>次いで、ベトナム国籍の方が 38 人の増加、中国籍の方が 29 人の増加となっております。</p> <p>その他は少数となるため割愛させていただきます。</p>
森委員	<p>施策 4-1 の農業所得について、令和 4 年度が 4 億 7 千万円となり、令和 3 年度から 2 億円近く下がっていますが、原因はどうお考えでしょうか。</p>
村瀬主事	<p>令和 3 年度と比較して肥料、燃料費、資料などの価格高騰により経費が増加したことが農業所得減少の原因だと考えられております。</p>
上大川座長	<p>補足ですが、収入ではなく所得で捉えているため、マイナスの要因というか、経費を差し引くことで所得が減少しています。</p>
山本副座長	<p>基本目標 1 の「転入転出者数」ですが、日本国籍の方は減っているとのことでしたが、どのような対策を実施していますか。</p>
伊藤副主幹	<p>人口減少対策全般として、主に企画政策課の事業をご紹介します。</p> <p>市外・県外からできるだけ若い方々に転入していただけるように事業を展開しております。</p> <p>主な事業としては、まず三世帯同居等支援事業がございます。この事業は、中学生以下の子どもを含む世帯が転入し、三世帯で同居近居を行った場合に補助金を支給する事業です。</p> <p>続いて、U ターン・I ターン・J ターンという言葉がありますが、まとめて、UIJ ターンによる企業・就業者等の創出事業がございます。東京都 23 区に在住・在勤している方が山武市に転入し、千葉県に登録された事業者様に就業していただくこと等で、補助金を支給する事業です。</p> <p>これは単身者やお子さんがある世帯など、世帯人数に応じて補助金の金額も変化いたします。</p> <p>移住定住以外の事業として、ご結婚される方への支援として、結婚新生活支援事業がございます。この事業は、年齢制限等はありませんが、ご結婚される方に対して、住宅の購入費等の支援を行っております。</p> <p>人口減少対策として、企画政策課ではこのような事業を実施しております。</p>
井野委員	<p>生きがいを持っている高齢者の割合が年々下がってきておりますが、これからさらに下がることは考えられますか。</p>

対応	内容
村瀬主事	<p>近年数値が減少している原因のひとつとして、コロナ禍による活動縮小が考えられます。高齢者が多く所属しているゴールドクラブでは、コロナ禍の影響による活動縮小により、組織数、登録人数ともに減少傾向にあります。</p> <p>そのため、コロナ禍の収束とともにまた再度上昇していくのではないかと考えられます。</p>
井野委員	<p>出生数と死亡数については、何か分析していますか。</p>
内山課長	<p>出生数と死亡数では、死亡数の方が多く、出生数も年々減少している状況です。</p> <p>市としては、子育ての充実や、若い世代が市内に定住できるような支援など、山武市に住みながら勤めることができ、子育てもできるというような形で、細かい事業に取り組んでいく必要があると考えております。</p>
井野委員	<p>子育て以前に、婚姻率の低下などが言われていますが、市ではどのようにお考えでしょうか。</p>
内山課長	<p>仰る通り、子育て支援とは、出産した後の支援だと考えております。それ以前の出会いの部分についても、重要な部分だと思います。</p> <p>国の統計調査では、「結婚したいとは思いますが、適当な相手がいない。」など、結婚する意志のある若者は多いという結果も出ております。山武市においても例外ではないと考えております。</p> <p>昨年より、企画政策課にて新しく、結婚応援事業という事業を実施しております。昨年度は松尾地域の Totoya さんを会場として、婚活より以前の段階である”恋活”イベントを実施いたしました。</p> <p>結婚の意思がある若者を対象として実施したところ、多くの応募があり、需要を実感できたため、令和5年度も引き続き力を入れていきたいと考えております。</p>
並木委員	<p>まとめて申し上げます。</p> <p>施策3-2における「生きがいを持っている高齢者の割合」において、このデータや目標値は何を参照にしていますか。</p> <p>続いて、施策2-1「英語講座への参加者数」では、なぜ人数を数値としているのでしょうか。今後子どもの数は減少するため、割合などの方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>最後に施策2-2「海外派遣事業応募者数」ですが、実際に海外派遣された人数は何名ですか。</p>

対応	内容
村瀬主事	<p>施策3-2「生きがいを持っている高齢者の割合」に目標値 50%については、高齢者福祉課が設定した第2期山武市総合計画とリンクさせ、総合計画めざそう値を踏襲した数値となっております。</p> <p>続いて、施策2-1「英語講座への参加者数」については、「イングリッシュカフェ開催事業」と「英語力アップ講座」の合計数を数値としており、両方の事業に参加する生徒も考えられます。割合を計算する際、母数を生徒総数とするため、100%を超えてしまう可能性があるなど、意味のある数値にならないなどの問題点があるため、人数を数値としております。</p> <p>また、ご指摘の通り、今後生徒数の減少は見込まれますが、参加者数は維持をしていくという点もございます。</p> <p>最後に施策2-2「海外派遣事業応募者数」について、コロナ禍による渡航制限等により、最後に実施したのは令和元年度になります。その際の渡航者数は中学生・高校生で合計15名です。</p> <p>それ以前も15名から18名程度の生徒が渡航しております。</p>
荒木部長	<p>補足ですが、施策3-2「生きがいを持っている高齢者の割合」における実績値については、まちづくりアンケートというものを参照しております。まちづくりアンケートは毎年実施しており、様々な分野のアンケートをとっています。施策3-2の他、いくつかの指標はまちづくりアンケートの結果を参照しております。</p>
諏訪委員	<p>施策3-1「この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合」では91%と高い数値となっており、出産から子育てまで、安心して子育てできる環境が整っていることが表されていると思います。</p> <p>対して、施策1-1「山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合」は22.3%、昨年度は23.0%と低くなっています。</p> <p>子育てに関する取組など、山武市の良い点を市内の方向けに情報発信することも重要だと思いますが、どのような取組を実施していますか。</p>
内山課長	<p>山武市で生活している子どもたちを含めて、特に若い世代の方々に山武市の魅力を把握していただくことで、市外の方にも魅力が伝わり、山武市への転入も増加すると考えております。</p> <p>また、子どもたちの中で、将来どのように山武市で生活するかと考えていただき、愛着を持っていただけるとも考えております。</p> <p>今後とも情報発信について検討を進めてまいります。</p>

対応	内容
荒木部長	<p>山武市の魅力を子どもたちに理解していただくという点が重要だと考えており、昨年度、生徒自身が山武市の魅力アップについて考える事業を山武中学校で実施いたしました。</p> <p>その中で魅力アップ用のネクタイの提案や、どうしたらより良いまちになるかなど、山武市の魅力について考えていただきました。</p> <p>魅力アップのネクタイについては広報さんむ5月号にも掲載されましたとおり、市長や副市長にも着用していただきました。</p> <p>このような学校での取組が今後広がり、まずは、今生活し学んでいる子どもたちが市を好きになってくれることが一番重要だと考えております。</p>
上大川座長	<p>中学校での魅力アップについて考える事業の際、魅力度最下位をとったことに対して、ショックを受け「そこまで悪くないのにどうして」と考える生徒や、「やっぱりそうか」と考える生徒がおり、自分たちで何かできないかと取り組んでいただきました。</p> <p>中学校だけでなく、小学校も含めて、児童生徒が考えることを拾い上げ、広い世代から意見をいただくことが重要だと感じました。</p> <p>一気に知名度があがるというのはなかなかできず、着実に取り組むことが重要だと感じるため、ぜひともご協力をお願いいたします。</p>
森委員	<p>基本目標1の「転入転出者数」の内訳において、外国籍の方が369人となっていました。急激に増加した原因の分析はございますか。</p>
上大川座長	<p>私の方からお答えします。事務局からスリランカ人が増加していると説明がありましたが、昨年度、スリランカの国内情勢が不安定だったことに加え、コロナ対策の水際対策が緩和されたことで、多くのスリランカ人の転入がありました。正確な数値はございませんが、3、4か月のうちに300人程度の転入がございました。</p>
森委員	<p>外国籍の子どもの中でも日本語がわからない子もいると思われそうですが、市ではどのような対応を行っていますか。</p>
伊藤副主幹	<p>GAA(Golden Age Academy) というNPO法人が山武市内で活動しており、外国籍の児童生徒へのサポートを市内の小中学校向けに実施しております。また、児童生徒は言語の習熟スピードが大人と比較して早く、市では保護者の方への日本語サポートを課題として考えております。</p> <p>パンフレットやチラシを英語やスリランカの公用語でも表記できるよう、徐々に対応中でございます。</p>

対応	内容
森委員	<p>山武市の中で不就学と言われる、小中学校に通っていない児童生徒は把握していますか。特に外国籍の子どもについてはどのように把握していますか。</p>
荒木部長	<p>国籍問わず、住民登録をされますと、子どものデータ等については教育委員会とも共有されます。</p> <p>不就学の児童生徒について、具体的な数値は教育委員会で把握していると思われま。先ほど話に挙げりました、NPO 法人 GAA には、学校の先生の OB・OG など、専門的な知識・経験を持つ方が所属しており、教育委員会と協力して支援活動を行っております。</p> <p>また、城西国際大学とも連携して、協力体制を整えております。</p>
森委員	<p>施策 4-2 「成田空港関連企業の市内従業員数」について、平成 29 年度の基準値と令和 5 年度の目標値が同一ですが、今後、成田空港の機能強化に合わせて目標値も増加しますか。</p>
荒木部長	<p>まず、この数値について、成田国際空港株式会社が 3 年に一度調査していますが、コロナ禍の影響で調査が実施できていない状況にあります。</p> <p>今後の機能強化によって、従業員数が増加する想定ではありますが、今計画期間である令和 5 年度まででは現状維持と考えております。</p> <p>機能強化に向けて、市として取り組む施策は検討していきたいと考えております。</p>
森委員	<p>成田国際空港株式会社の平成 29 年度調査を見たところ、香取市が 1367 人となっており、山武市の 2 倍以上でした。</p> <p>高速道路の有無などはありますが、距離的には同程度の山武市にはもう少し増やすことができるポテンシャルはあるのではないのでしょうか。</p>
荒木部長	<p>成田空港の従業員数について、市町村の規模により人数は異なりますが、人口の規模に対する割合でいうと山武市が低いのは事実です。</p> <p>要因の一つとして、空港への直接の路線がないというのも考えられます。市では、横芝光町、芝山町と協力し、空港シャトルバスを設けております。利用者数は多いのですが、従業員数につながらない点もございます。</p> <p>今後の施策の中で、課題として検討しております。</p>

対応	内容
<p>上大川座長</p>	<p><b>【6. その他（1）企業版ふるさと納税について】</b></p> <p>本日の議事については以上となりますけれども、令和4年度に企業版ふるさと納税による寄附がございました。その他（1）「企業版ふるさと納税について」に移ります。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局説明 （村瀬主事）</p>	<p><b>■説明■</b></p> <p>令和4年度に本市が受けた企業版ふるさと納税についてご報告させていただきます。【資料2】をご覧ください。</p> <p>左上①は、企業版ふるさと納税制度の概要等を示したものとなります。</p> <p>企業版ふるさと納税とは、寄附額の最大9割の法人関係税が軽減される制度です。</p> <p>本市では平成30年度から総務省の認可を受けていましたが、活用実績がありませんでした。令和2年度に地方版総合戦略に記載されている事業に対し、包括的に寄附を充てることが可能となる制度改正があり、本市でも「山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載された事業に充当できるように改めて認可を受けたところです。</p> <p>右上②をご覧ください。こちらは令和4年度の実績報告となります。</p> <p>令和4年度は4件の寄附をいただきました。令和4年6月10日付で株式会社リライアブル様より、同年11月21日付で東武トップツアーズ株式会社様より、令和5年3月14日付で、昨年に引き続き下村特殊精工株式会社様より、同年3月24日付で株式会社五十嵐商会様より、それぞれ企業版ふるさと納税に係る寄附をいただきました。また、寄附企業に対しては、感謝状の贈呈を行い、広報さんむに掲載いたしました。</p> <p>続きまして、下側③をご覧ください。現在の課題と今後の取り組みについて、整理したものです。</p> <p>寄附件数を増やすための課題として、総合戦略及び地域再生計画における具体的な施策の一部が、環境の変化に対応できていないため、寄附企業にとって魅力的なメニューになっていないことと、山武市の知名度が低いことで寄附先の候補になりにくいことと考えます。</p> <p>今後の取組について、「山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂の際、山武市のDX対応方針等を含めたものとなるよう取り組みます。改訂については【資料3】にて後述いたします。</p> <p>2つ目の課題については、国が管理しているインターネット上のページへの登録や、セミナー、イベント等への参加など、寄附を行いたい企業との</p>

対応	内容
	<p>マッチング支援の活用を検討していきます。</p> <p>企業版ふるさと納税については以上となります。</p>
<p>上大川座長</p> <p>井野委員</p> <p>伊藤副主幹</p> <p>荒木部長</p> <p>井野委員</p> <p>荒木部長</p>	<p><b>■質疑応答■</b></p> <p>ただいま事務局より、企業版ふるさと納税について説明がありました。この点につきまして、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。</p> <p>ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p> <p>令和4年度に寄附をいただいた4つの事業者の業種と本社の所在地についてお聞きしたいです。</p> <p>また、山武市に流入した金額についてはこの実績のとおりですが、山武市から流出した金額は把握していますか。</p> <p>流出金額についてですが、総務省から公表されておらず、不明となっております。申し訳ございません。</p> <p>業種と本社所在地についてですが、1番目の(株)リライアブルさんは、人材派遣等の事業を行っており、東京都新宿区に本社がある企業です。</p> <p>2番目の東武トップツアーズ(株)さんは東京都墨田区に本社がある旅行や観光に関する業務を行っている企業です。</p> <p>千葉支店長さんが山武市出身ということでご寄附をいただきました。</p> <p>3番目の下村特殊精工(株)さんは市川市に本社があります。また、松尾地域に工場があり、金型等の金属加工業を行っております。</p> <p>4番目の(株)五十嵐商会さんですが、ご存じある方も多いかと思いますが、廃棄物の収集などを行っており、東京都練馬区に本社がございます。創業者が多古町出身ということもあり、近隣自治体である山武市へご寄附をいただきました。</p> <p>また、企業版ふるさと納税には、企業と市をマッチングさせる企業があり、その企業の紹介で(株)リライアブルさんをご紹介いただきました。</p> <p>山武市の知名度について、合併時に「太平洋市」という案が出ていましたが、知名度アップに向けて何かお考えはありますか。</p> <p>ご存じのとおり、山武市は4町村が合併してできた経緯があり、例えば旧成東町では、甲子園に出場経験のある古豪成東高校や、名産のイチゴ、本須</p>

対応	内容
<p>井野委員</p> <p>荒木部長</p>	<p>賀海岸、旧蓮沼村ではウォーターガーデンなど、個々の知名度は高いと思いますが、山武市という1つのブランドとしては課題があるのかと感じます。</p> <p>今後は山武市の中にイチゴがある、ウォーターガーデンがあるといった情報発信によって知名度を上げる必要があると考えております。</p> <p>また、山武（サンプ）郡という括りと、旧山武（サンプ）町、現在の山武（サンム）市という名称など、呼称という点でも難しいと考えております。</p> <p>地域外の人で「山武市」を正しく読める人が、思っているより少ないと思います。「ヤマタケ市」と読む人もいます。読み方という点でもPRが必要だと思います。</p> <p>あくまで一例ですが、圏央道に（仮称）山武パーキングエリアを新設する話もごさいます。</p> <p>名称も仮称ではありますが、そのように「山武」という言葉が地図上に載るなどすると、知名度は上がっていくのかなと個人的には思います。</p>
<p>上大川座長</p>	<p>他に質問等ございますでしょうか。</p> <p>&lt;質問なし&gt;</p>
<p>上大川座長</p>	<p><b>【6. その他（2）まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について】</b></p> <p>続きまして、その他の（2）「まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について」に移ります。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局説明 （村瀬主事）</p>	<p><b>■説明■</b></p> <p>最後に、まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について報告させていただきます。【資料3】をご覧ください。</p> <p>国において、令和4年12月23日、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されました。デジタル田園都市国家構想総合戦略では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を継続し、さらにデジタルの力を活用しつつ、地域課題の解決に向けた取組を加速化・深化することとしております。</p> <p>また、同日付の通知文中に、「国の総合戦略を勘案し、各地方公共団体において、デジタル田園都市国家構想の実現に向け、地方版総合戦略の策定・改訂に努めていただくようお願いいたします。」とあります。</p>



対応	内容
	<p>山武市においても、これを受けまして、令和6年度中に山武市版デジタル田園都市国家構想総合戦略の早期の策定に取り組みます。</p> <p>説明は以上となります。</p>
<p>上大川座長</p>	<p><b>■質疑応答■</b></p> <p>委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。</p> <p>ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p> <p>&lt;意見・質問等なし&gt;</p>
<p>上大川座長</p>	<p>その他（２）をもちまして、議事は全て終了いたしました。</p> <p>最後にみなさまから何かご意見ご相談がございましたらお願いいたします。</p> <p>&lt;意見・質問等なし&gt;</p> <p>ありがとうございます。ここで議長の任を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>内山課長</p>	<p><b>【7. 閉 会】</b></p> <p>ありがとうございました。最後に事務局から皆さまに連絡事項がございます。</p>
<p>伊藤副主幹</p>	<p><b>《連絡事項》</b></p> <p>本日はご出席いただきありがとうございました。</p> <p>事務連絡となりますが、本年度につきましては、今後の会議予定はございません。しかしながら、総合戦略を緊急で改訂する必要性が生じた場合などは、会議を開催することが考えられますので、その際はよろしくお願いいたします。</p> <p>また、来年度につきましては、総合戦略の最終年度ということで、会議の回数が増えるかと思われるため、来年度もまた、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>

対応	内容
内山課長（閉会）	<p>その他、委員の皆様から連絡事項等ございますでしょうか。</p> <p>&lt;連絡事項等なし&gt;</p> <p>それでは本日の議事はすべて終了となります。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたりまして、ありがとうございました。</p>

（以上）